

# 十王地区

## コミュニティセンター

平成29年度竣工

### ■地域のよりどころ

木材で建てた温もりを感じる施設ではないかと思えます。

コミュニティセンターということで地域の方々の拠点となる施設です。地域行事や地域の重要な会議、作品の展示など多くの用途に使用される施設です。そのような多くの人が集まる施設を地元の木材や和紙、紅花など町外に誇れる産物を使って建築したことは大変素晴らしい、普段使用している私たちも誇りに思っています。



すがき かつお  
鈴木 和夫さん

白鷹町十王在住 小学校教諭を退職後、十王地区コミュニティセンター長



あおき まりこ  
青木 満里子さん

十王地区コミュニティセンター事務局長として施設管理に携わる

### ■世代を越えた地域の絆

当施設は地元の十王区財産管理会の木材を利用して建てた施設です。植林を行った先人たちの想いをこのような形で引き継ぐことは大変うれしく思っています。また、十王市内にも建築に関わった大工さんなどの技術者もおります。これまで植林を行った方々、山の手入れをしていた方々、山の手入れを助けていた方々、そして施設を活用していく方とそれぞれの年代で地域に関わっていくということ、森林がつかないでくれた地域の絆なのかと感じています。

## 白鷹町立図書館

令和元年度竣工

### ■木のやすらぎ

木の香りがスタッフと利用者共に「やすらぎ」を与え、気持ち良く業務ができています。包み込むような森の温かみを感じることも施設の大きな特徴のように感じています。

以前の図書館と比べて利用者数が増加した要因の一つにそのような理由もあるのかと思います。

### ■人と人をつなぐ

#### 図書館に

町の図書館には、地域の課題解決や行政が住民の皆さまに伝えたいことの窓口としての役割もあります。施設が木に囲まれていることで環境や木に関わる歴史や文化、産業のメッセージを発信しているものと感じています。図書館としても企画展などを通して町と住民の架け橋となれるようにしていきたいと考えています。

これからも、町民の皆さまに愛される施設となっていくよう、人と人の関わりを大切にしたい、心温まる図書館にしていければと思います。



なかがわ えいこ  
中川 栄子さん

白鷹町十王在住 小学校教員を退職後令和3年4月より白鷹町立図書館館長  
令和元年には、娘である石原縁氏と共に鈴の音童話「すばる」を出版。全国各地の図書館で所蔵されている。



# もり 森林と共に



## 木の施設につつまれて

### 愛真こども園

平成29年度竣工

#### ■木のぬくもり

当施設は、柱を丸太の状態で作られています。丸太は、四角に製材された木材のように角がないため、子どもたちや職員に「優しさ」で包まれているような環境を提供してくれます。この優しさが子どもたちに家庭的な気分を与えるため、子どもたちはリラックスした状態で過ごせていると感じます。また、木造施設となり断熱性が良くなつたと感じます。特に冬は、旧園舎の時より服を1枚少なくしても快適に過ごせています。

#### ■木の豊かさ

当施設の木造化をきっかけに、保護者の方や地域の方のご協力により、子どもたちへの木育活動により一層取り組むことができるようになりました。自分の手で木製のイスやテーブルを製作することで、子どもたちに木の魅力が伝わっていると感じます。また、海へ行った際に流木を持ち帰る子どもがいるなど、子どもたちにとって、木がより生活に密着していると感じます。



やまもと さちこ  
山本 幸子さん

愛真こども園 園長  
白鷹町で約30年間保育士として活躍